



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月14日

上場会社名 株式会社 i - p l u g 上場取引所 東
コード番号 4177 URL https://i-plug.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 中野 智哉
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 阪田 貴郁 TEL 06-6306-6125
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	788	21.7	△305	-	△304	-	△229	-
2024年3月期第1四半期	647	33.4	△542	-	△542	-	△395	-

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △229百万円 (-%) 2024年3月期第1四半期 △395百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△58.22	-
2024年3月期第1四半期	△100.36	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	4,054	552	13.6
2024年3月期	3,199	782	24.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 552百万円 2024年3月期 782百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	0.00	-
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	0.00	-	0.00	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,640	22.5	550	294.3	548	298.0	406	-	102.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	3,951,505株	2024年3月期	3,949,205株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	857株	2024年3月期	857株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	3,950,073株	2024年3月期1Q	3,938,873株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料をTDnetに本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(重要な後発事象)	7

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 当四半期の経営成績の概況

(売上高)

2025年卒業予定者の大卒求人倍率は1.75倍と2024年卒の1.71倍より0.04ポイント上昇し、企業の新卒採用意欲は高い状態を維持しております（出典：リクルートワークス研究所）。また、就職活動の状況について、2025年卒の就職内定率（2024年7月1日時点）は、88.0%（前年比4.8ポイント増）と高い水準で推移しています（出典：㈱リクルート 就職みらい研究所「就職プロセス調査」）。選考のオンライン化が進んだことによる企業の採用活動の効率化や売り手市場による採用難からくる競争激化を背景に、2025年卒の就活スケジュールは前年に引続き早期化していることがうかがえます。

一方、当第1四半期連結会計期間末におけるOfferBox企業登録数（累積）は、1.8万社（前年同月比21.4%増）、OfferBox2025年卒学生登録数（累積）は、20.3万人（同12.1%減）となりました。オファー送信数及びオファー承認数がいずれも累計で前年同期比において増加していることから、企業の採用意欲は高い状態を継続しているといえます。

このような状況のなか、当第1四半期連結累計期間の売上高は788,090千円（前年同期比21.7%増）、OfferBoxの2025年卒内定決定人数は4,527人（同8.7%増）となりました。

当社グループは、HRプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。サービス別に区分した売上高の概況は、次のとおりであります。

OfferBox（早期定額型）

2026年卒を対象とした早期定額型は、新卒採用市場の早期化ニーズを着実に取り込むことで、受注高は好調に推移しました。この結果、当第1四半期連結累計期間のOfferBox（早期定額型）の売上高は520,827千円（前年同期比36.8%増）となりました。

OfferBox（成功報酬型）

2025年卒を対象とした成功報酬型は、早期定額型の受注が好調であったため、入社合意率を超過した内定決定は前年並みとなりました。また、成功報酬型利用企業における内定決定は、苦戦が続いております。一方、新卒紹介サービスのOfferBoxPLUSは成長を続けております。この結果、当第1四半期連結累計期間のOfferBox（成功報酬型）の売上高は165,667千円（前年同期比3.5%減）となりました。

eF-1G（適性検査）

適性検査サービスの受検件数はほぼ前年並みで推移しました。この結果、当第1四半期連結累計期間のeF-1G（適性検査）の売上高は76,443千円（前年同期比3.7%減）となりました。

その他

新規事業や顧客紹介等の売上高が含まれております。この結果、当第1四半期連結累計期間のその他の売上高は25,151千円（前年同期比58.8%増）となりました。

(営業損失)

連結子会社である株式会社paceboxが提供するオファー型転職サービス「PaceBox」の終了に伴い販売費及び一般管理費が減少しました。これに加えて、第1四半期連結累計期間の売上高の季節性から、当第1四半期連結累計期間の営業損失は305,017千円（前年同期は営業損失542,814千円）となりました。

(経常損失)

銀行借入れに対する支払利息を計上しております。この結果、当第1四半期連結累計期間の経常損失は304,499千円（前年同期は経常損失542,294千円）となりました。

(親会社株主に帰属する四半期純損失)

税金計算に四半期特有の会計処理を採用し、法人税等を△74,537千円計上しております。この結果、当第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純損失は229,961千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失395,293千円）となりました。

(第1四半期連結累計期間の季節性)

当社グループの売上構成として、OfferBox早期定額型の売上高が74.8%（2024年3月期）を占めます。この早期定額型の受注は、第1四半期に集中する傾向にあります。また、OfferBox早期定額型の売上高は、役務提供期間の経過に応じて収益を認識するため、下期に偏重する傾向にあります。

四半期連結会計期間の売上高及び営業利益の推移

2024年3月期	第1四半期 (4-6月期)	第2四半期 (7-9月期)	第3四半期 (10-12月期)	第4四半期 (1-3月期)	年度計
売上高(千円)	647,561	1,131,106	1,410,292	1,413,663	4,602,623
構成比(%)	14.1	24.6	30.6	30.7	100.0
営業利益(千円)	△542,814	5,985	325,292	351,014	139,478

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は4,054,283千円となり、前連結会計年度末に比べ854,833千円増加いたしました。これは主に、借入による資金調達と4月及び5月の受注増により現金及び預金が510,526千円増加したこと、2024年6月度の受注増により売掛金及び契約資産が115,860千円増加したこと等によります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は3,501,590千円となり、前連結会計年度末に比べ1,084,285千円増加いたしました。これは主に、早期定額型の受注が好調であったため、この収益認識から生じる契約負債が1,070,707千円増加したことによります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は552,692千円となり、前連結会計年度末に比229,451千円減少いたしました。これは、売上高の季節性から第1四半期連結会計期間は赤字となるため、親会社株主に帰属する四半期純損失が229,961千円となったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年5月14日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,164,680	2,675,206
売掛金及び契約資産	107,766	223,627
その他	228,774	333,720
流動資産合計	2,501,220	3,232,554
固定資産		
有形固定資産	41,913	40,441
無形固定資産		
のれん	54,409	51,008
ソフトウェア	394,028	479,781
その他	58,440	23,634
無形固定資産合計	506,878	554,424
投資その他の資産	149,437	226,863
固定資産合計	698,229	821,729
資産合計	3,199,449	4,054,283
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	346,633	417,777
未払法人税等	71,111	7,247
契約負債	1,101,578	2,172,285
その他	676,768	547,420
流動負債合計	2,196,091	3,144,729
固定負債		
長期借入金	195,815	333,838
資産除去債務	22,562	20,449
その他	2,836	2,573
固定負債合計	221,214	356,861
負債合計	2,417,305	3,501,590
純資産の部		
株主資本		
資本金	664,424	664,439
新株式申込証拠金	—	480
資本剰余金	542,181	542,196
利益剰余金	△424,277	△654,238
自己株式	△184	△184
株主資本合計	782,144	552,692
純資産合計	782,144	552,692
負債純資産合計	3,199,449	4,054,283

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	647,561	788,090
売上原価	135,155	109,950
売上総利益	512,406	678,139
販売費及び一般管理費	1,055,220	983,157
営業損失(△)	△542,814	△305,017
営業外収益		
助成金収入	990	1,000
業務受託料	199	82
受取手数料	731	138
その他	38	151
営業外収益合計	1,960	1,372
営業外費用		
支払利息	1,270	749
株式交付費	148	100
その他	21	3
営業外費用合計	1,440	853
経常損失(△)	△542,294	△304,499
税金等調整前四半期純損失(△)	△542,294	△304,499
法人税等	△147,000	△74,537
四半期純損失(△)	△395,293	△229,961
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△395,293	△229,961
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益	△395,293	△229,961
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△395,293	△229,961

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	12,579千円	28,416千円
のれんの償却額	8,184	3,400

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、HRプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2024年5月14日開催の取締役会において、当社の完全子会社である株式会社paceboxを吸収合併すること及び本吸収合併にあたり、当社が同社に対して有する債権の一部を放棄することを決議し、2024年7月1日付で吸収合併を行いました。

(1) 取引の概要

① 結合当事企業の名称及びその事業の内容

(存続会社) 株式会社i-plug

(消滅会社) 株式会社pacebox

(事業の内容) オファー型転職サービス「PaceBox」の運営

② 企業結合日

2024年7月1日

③ 企業結合の法的形式

当社を存続会社、株式会社paceboxを消滅会社とする吸収合併

④ 結合後企業の名称

株式会社i-plug

⑤ その他取引の概要に関する事項

2024年6月28日をもって終了するオファー型転職サービス「PaceBox」を利用して採用が決定した企業に対し、採用した人材の2年間の定着保証を行っております。この度、当社グループの経営の効率化を図るとともに、サービス終了後の保証義務を確実に履行するために、当社は株式会社paceboxを吸収合併することといたしました。

なお、本合併に先立ち、株式会社paceboxに対する債権のうち一部(910,856千円)を2024年6月28日付で放棄しております。

(2) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理する予定であります。

なお、本合併による当社の連結業績への影響(主に株式会社paceboxから引き継ぐ税務上の繰越欠損金に関する税効果)は算定中です。また、債権放棄による当社の連結業績に与える影響はありません。